



## ナメクジはなぜ体がちぎれても動くの

### 動いていても、やがて死ぬ

ナメクジの体は口、胃、心臓、と各部分はそれぞれ高度に発達したつくりになっており、それらの全部がそろってはじめて生きていきます。

体がちぎれてしまったら、全体としては生きていきません。栄養や酸素の補給がとだえてきますので、やがて死にます。

### 生きづくりの魚が動くのと同じ

しばらく体を動かしていけるのは、体の各部分にたくわえている、栄養や酸素を使っているからです。生きづくりの魚が、ぴくぴく動くのと同じです。栄養や酸素を使い切れれば、やがて死にます。

### 筋肉のちぢむ力を調べる

筋肉のちぢむ力を調べるのに、よくカエルの筋肉を使います。筋肉をつつむ膜をきずつけずに、じょうずに取りだすと、しばらくは、筋肉を生かしておけます。筋肉におもりをつり下げて、電気で刺激すると、ちぢんで、ものをもち上げます。これも同じことです。

(監修・中山 周平)

